

もおかの人と人をつなぐ情報誌

コラボ!

第66号

2025.7

真岡市市民活動推進センター コラボーレもおか 【運営団体】特定非営利活動法人ま・わ・た

特集

五行川の草抜きボランティア

3/23（日）、2月に引き続き、五行川沿いの護岸で草抜き活動を行いました。今回は、これまで手をつけていなかったエリアに取り組み、繁茂するイネ科の植物に苦戦しました。護岸の石やコンクリートの隙間に根を張っているため、バールなどの道具を使い、力を込めて取り除く作業となりました。

その甲斐あって、約40袋分の草と土砂を回収することができました。

12月から3月にかけて4回続けてきた取り組みの成果として、河川敷はより一段ときれいな姿となりました。五行川河川緑地を活用したイベントの際には、きれいになった河川敷もぜひ利用していただけたら嬉しいです。

今後も、冬季の活動を継続していく予定です。地域の皆さんと共に、美しいまちなかの景観を守り続けていけたらと思います。

（参加者13名）



活動前（R6/12/8）の景観



最終日活動後（R7/3/23）の景観



活動前の準備体操



手際よく活動する参加者の皆さん



休憩中の団らの様子

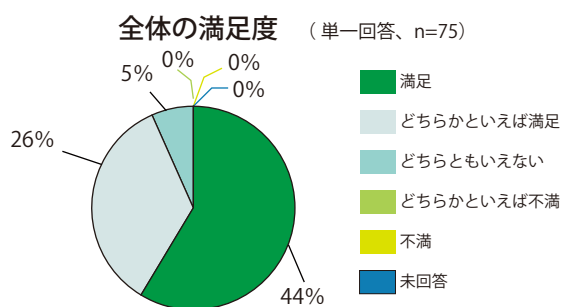


アンケート結果報告

真岡市市民活動推進センターでは、毎年利用者アンケートを実施し、その結果をセンターの運営に反映しています。

本年度も多くのご回答をいただきましたので、その一部をご紹介します。

【回答率】 利用団体の皆さまからの回答率は 34.6% で、令和 5 年度（37.2%）よりやや減少しました。

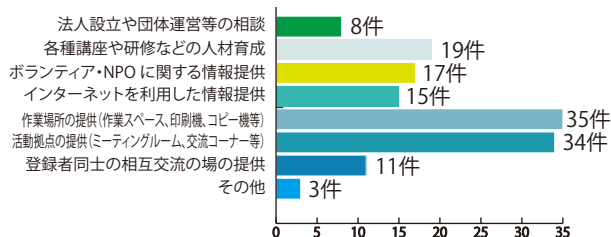


【満足度】

センターの利用に関する満足度は非常に高く、94.3%の方が「満足」「どちらかといえば満足」と回答してくださいました。

充実すべき支援内容

（複数回答、n=75）

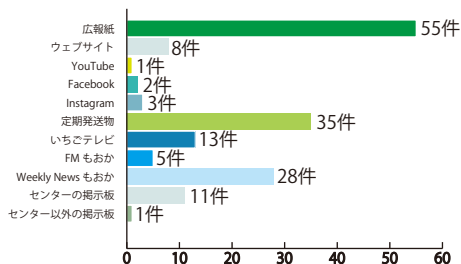


【充実を期待する支援内容】

「活動拠点の提供 (35 件)」「作業場所の提供 (34 件)」が特に多く、これらの支援に対するニーズが高いことがわかりました。

使いやすい情報方法

（複数回答、n=75）

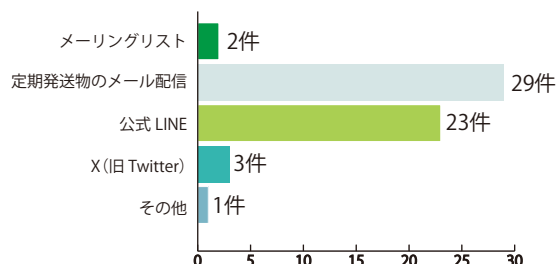


【使いやすい情報発信方法】

「広報紙 (55 件)」が最も多く、次いで「定期発送物 (35 件)」「weekly news もおか (28 件)」となっており、紙媒体での情報提供が引き続き支持されている様子がうかがえます。

使ってほしい情報発信方法

（複数回答、n=75）



【今後使ってほしい情報発信方法】

主にデジタルでの発信方法をご提示しましたが、予想以上に「メール発信 (29 件)」「公式 LINE (23 件)」への関心が高く、改めて注目すべき手段であると感じました。

今回のアンケートを通じて、利用者の皆さまが必要とされている支援や情報発信の在り方について、貴重なご意見をいただくことができました。これらは今後のセンター運営に、しっかりと反映してまいります。

なお、アンケート結果の詳細は、当センターのウェブサイトに掲載しております。ぜひご覧ください。

コラボレもおか 利用者アンケート報告ページ
<https://collabo-moka.net/home/about/datebase>



■ 協働理解促進講座

「あなたの力が地域を救う How To ボランティア」

3/1[±]

講師に宇都宮市社会福祉協議会の八木茂氏を迎え、災害ボランティアセンターの運営経験に基づいた講義を行っていただきました。講演の中では、多様な人々と連携する重要性などをお話しいただきました。

加えて、ゲストにも登壇いただき、真岡市議の上原チョー氏からは能登半島地震での活動報告。真岡市社会福祉協議会の関悠大氏からは、真岡市で実際に起きた竜巻などの事例を踏まえた取り組みも紹介され、平時からの備えの大切さを学びました。

休憩後は上原氏のリードによるラジオ体操でリフレッシュし、対話形式のグループワークへ。参加者同士が東日本大震災などの災害から学んだことを語り合いました。少人数ながらも濃密で心に残る学びと交流の時間となり、地域防災や市民活動の可能性を再認識する機会となりました。

こうした学びをきっかけに、災害時に“できること”を持つ市民が一人でも多くなるよう、今後も身近で学べる機会を大切にしていきたいと思います。(参加者7名)



■ こらぼ茶話

「ほっこり寺カフェ～地域と心を結ぶひととき～」

3/15[±]

今回のこらぼ茶話は蓮城院本堂をお借りして開催しました。講師は副住職・荒木弘文氏。サラリーマン経験を経て仏門に入った荒木氏による講話では、「命への感謝」や「心のよりどころ」について分かりやすくお話しいただきました。坐禅体験も行い、心を整える時間。お茶菓子には、そらまめ食堂の最中が用意され、心もお腹も満たされるひとときになりました。

日々の忙しさの中で自分を見つめ直す時間は、地域で活動する上でも大切です。こうした気づきが、活動の原動力となることを期待しています。(参加者24名)



■ スキルアップ講座

「わたしはなにをする人ぞ!?～「伝える」ためのはじめの一步～」

3/29[±]

この講座では、センタースタッフの長野が講師を担当し、市民活動における広報の“はじめの一步”として、自分自身や自団体の活動を改めて見つめ直し、どのように伝えていくか、そのポイントを考える時間を持ちました。

課題や目標を整理しながら、「何を」「誰に」「どう伝えるか」を意識することで、伝えたいことが相手に届く広報のあり方を考える良い機会となりました。参加者の皆さんは、それぞれの想いや活動内容を熱心に整理し、ワークに取り組んでいました。

「思い」だけが先行して一方的になりがちな広報だからこそ、「伝えたい相手に届く工夫」が欠かせません。今回の学びが、今後の活動の広がりにつながっていくことを願っています。(参加者4名)



登録団体紹介

とことこテラウチ実行委員会

とことこテラウチ実行委員会は寺内駅前地区の有志を中心に約 20 名で構成されており、寺内駅前に人々で賑わう場所と機会を作ろうと、定期的にキッチンカー・マルシェイベント「とことこテラウチ」を開催しています。

イベントには地元の方々を中心に老若男女数百人が来場し、キッチンカーで舌つづみを打ったり、地元生産者のマルシェで野菜を買ったり、昔遊びで子ども達と年配の方々が一緒に楽しんだり、人々が集まる中で世代を超えたコミュニケーションの場となっています。

地元有志がボランティアで作る新しい地域活性化の形「とことこテラウチ」に、是非遊びにきてください！一緒にイベントを盛り上げる活動してくださる仲間も募集中です☆

代 表：賀川 元史



連絡先 ▶



TOKOTOKO_TERAUCHI

下物井区

私達の住む下物井地区は、真岡市南部に位置する農村地域です。豊かな自然と農地に囲まれ、静かな生活環境が広がっています。また、真岡市は、いちご生産日本一を誇り、下物井地区でもいちご栽培が盛んです。

この地区で、住民の皆様が更に住みやすく、楽しく過ごしていけるようバッグアップしていきます。

代 表：松本 一憲



新規
登録
団体
紹介
(3~5月)

団 体 名

上谷貝区	ローズマリー
下物井区	久下田祇園祭実行委員会
とことこテラウチ実行委員会	レモネードスタンド真岡実行委員会
一般社団法人 Life of Life	物部地区退職公務員会
ブラっと こども食堂	

真岡市市民活動推進センター

コラボーレもおか



◀コラボーレもおか
イメージキャラクター
こらちゃん(左)と
ポレくん(右)

〒321-4507

栃木県真岡市石島893-15 真岡市二宮コミュニティセンター2F

T E L : 0285-81-5522

F A X : 0285-81-5558

e-mail : info@collabo-moka.net

U R L : https://www.collabo-moka.net

【開館時間】火～金：9:00～21:00（土・日は18:00まで）

【休 館 日】・毎週月曜日 ・祝日 ・年末年始（12/29～1/3）

※その他イベント・施設管理の関係で臨時に休館になる場合があります。



Facebook



Instagram



YouTube



ギャラリー



こらぼひろばピックアップ
「ローズマリーの仲間」